

中通り大橋線事業

近藤 健司(愛・桐生)

質問 私も提出に同行した大沢町一丁目地内株ミツバ付近及び神明小学校付近における信号機付き交差点整備に関する地元住民からの要望書への対応は。

答弁 市及び関係機関に提出された要望書に基づき、現在、関係機関と協議中である。神明小付近の道路については、既に信号機付き交差点の整備を前提に工事を進めており、今後着手する(株)ミツバ付近の道路整備

(整備が進む中通り大橋線)



についても同様に進めたい。また、場合によっては市長自ら県に出向き、信号機設置を要望する機会を設けたと考えている。

児童虐待防止

西牧 秀乗(友和会)

質問 桐生市における児童虐待の実情と対応は。(オレンジリボン)



答弁 平成十九年度の通報件数は前年度より六件減の十九件、虐待の事実を確認できた件数は三件増の九件であった。いずれも通報後二十四時間以内に対応し、必要に応じて警察などに保護を要請している。また、虐待防止の啓発を目的とするオレンジリボン運動への取り組みとして、児童虐待防止月間には関係機関へのリボン配布を行っている。

質問 オレンジリボン運動に関わる今後の展開は。

答弁 国の補助制度活用なども考えていきたい。

学校における事故防止

星野 定利(愛・桐生)

質問 六月に杉並区の小学生在が校舎天窓からの転落により死亡した。相生、天沼、大沢、境野、南、昭和、梅田南の八小学校には全国でも桐生にしかないガラスの天窓があり、既に三件事故が発生している。その対策が防護ネットだけでは日本一危険な子育て都市になってしまふ。皆さんにも一度現場を見てもらいたいと考えるが、防護ネットによる対策とした経緯は。

答弁 屋根に児童を立ち入らせない指導の徹底を対策の軸としながら、万一の備えとして防護ネットを設置したものである。

(市内小学校校舎の天窓)



みどり市との合併

相沢 崇文(クラブ2)

質問 合併新法期限内における合併実現の可能性を(桐生・みどり連携推進市長会議)



現時点でどう考えているか。

答弁 市長就任以来、掲げてきたみどり市との合併への信念は現在もまったく変わっていない。今後の展開としては、みどり市議会十二月定例会での一般質問に対するみどり市長の答弁において「十三に及ぶ団体が総意として合併要望書を提出したことは重く受け止めている」「現在のように落ち着いた段階で議論する方が意義がある」などの発言があったことを受け、みどり市長との早期話し合いを設けたいと考えている。

川内地区の小学校適正配置

福田 光雄(愛・桐生)

質問 平成二十二年四月を目途に二校が統合される場合、川内南小学校における校舎の耐震改修や新たな教室の確保などの準備は、平成二十一年度中に実施可能か。また、遠方通学児童への対応をどのように考えているか。

答弁 川内南小学校校舎の耐震改修については平成二十一年度中の事業完了を予定しており、教室については現状の施設規模の中で

(川内南小学校)



確保できると考えている。また、遠方通学児童への対応については、おりひめバスの利用とともにスクールバスの導入を検討している。

川内地区の地域計画

庭山 由紀(薫風会)

質問 川内町全体及び川内町五丁目における人口ならびに子供の数の変遷は。

答弁 町全体及び五丁目の人口は昭和六十年をピークに緩やかに減少し、十五歳未満人口は町全体でピーク時の約半数となっている。

質問 約四十年前に学校統廃合が行われた梅田町五丁目の小学生が現在一人だけというように学校統廃合は地区の過疎化を促すと考

えるが、川内地区の四十年

後の人口推計と将来施策は。

答弁 四十年後の人口推計値や地区単位の施策は定めていない。市全体の施策の中で考えていきたい。

(川内北小学校)



相生町五丁目団地建替事業

森山 享大(愛・桐生)

質問 同団地の詳細、余剰地活用計画及び住民へ(建設中の相生町五丁目団地)



の対応はどのようなものか。
答弁 平成二十一年七月末完成、九月入居開始予定、鉄筋コンクリート造十一階建て、A棟六十七戸、B棟五十三戸(シルバー住居二十四戸含む)であり、生活援助員執務室や集会所を備える。また、余剰地二万平米のうち五千四百平米は、飲料水貯水槽を備える都市計画公園用地として利用し、残る一万四千六百平米は売却も含め活用を検討したい。また、平成十七年八月、十九年九月に地元町会に対する説明会を開催した。

雇用対策と中小企業支援

中田 米蔵(日本共産党)

質問 雇用対策及び中小企業支援の取り組みは。

答弁 国が打ち出した雇用対策の円滑な推進に努める中で、地域雇用の確保と創出に取り組みたい。また市内金融機関を訪問し、中小企業の資金需要への十分な対応を依頼するとともに市の融資制度の条件緩和や公共工事の早期発注、小規模修繕工事の零細業者への発注など支援に努めている。

質問 市長による企業訪問の成果はいかなるものか。

答弁 多くの企業が苦しい状況にあると認識できたので、さらに調査し、市が行うべき対策を検討したい。(公共職業安定所)



緊急雇用問題対策について

周藤 雅彦(クラブ2)

質問 対策室設置についてどう考えるか。

(緊急雇用対策本部相談窓口)



答弁 現在、群馬労働局に緊急雇用対策本部が、また太田公共職業安定所に特別相談窓口が設置される中、職業相談や再就職支援などの雇用対策が実施されている。桐生市としても、それらと連携を図り、今後の雇用情勢に配慮しつつ対策室の設置を検討したい。
質問 本市に多い中小零細事業者の仕事減少や解雇などの問題も含めて対策を講じるべきではないか。
答弁 雇用、金融などの問題について全部局において丁寧に対応していきたい。

都市計画マスタープラン

坂田 和平(愛・桐生)

質問 作成の目的、役割、目標年次は。

答弁 都市計画の総合的指針として住民の意見を反映させる中、各種方針を明らかにするもので平成二十七年を目標年次としている。

質問 新里町における地域別懇談会の開催結果は。

答弁 四十二名出席、土地利用の規制方針、幹線道路など素案の説明を行った。

質問 新里、黒保根地区の幹線道路の現状と課題は。

答弁 新里・黒保根間や工業団地を結ぶ道路整備が必要と考えるが、広域的な道路としての取り組みも県などに働きかけていきたい。

(新里町地内の道路)



市有バスについて

石井 秀子(友和会)

質問 有効活用と配車システム化に関する見解は。

(市有バス)



答弁 市有バス十三台のうち、定時運行のスクールバス四台と施設利用者を送迎する二台を除く七台は、相互補充の有効活用が可能と考えるが、それぞれ管理所管が異なることや運転手の勤務体系の違い、本来の目的を阻害しない運行管理の確保など解決すべき課題も多いと考える。また、市有バスの一元管理などのシステム化は、計画的な配車とその有効活用のために重要な提案と受け止めており、今後関係部課と協議を重ね、前向きに検討していきたい。

食と農

河原井 始(クラブ2)

質問 食料自給率を向上させなければ、食の安全保障上たいへん重大な問題に発展すると思われる中、耕作放棄地が県平均を上回っているが、その解消に向けた取り組みは。

答弁 担い手育成総合支援協議会を中心に地域住民や農業委員、関係機関の意見を聞いて対応したい。

質問 耕作放棄地利用や食料残さの飼料化をしなければ食糧危機に陥るのでは。

答弁 桐生市は生産調整を達成しているが、農業者や団体が販売戦略を立て生産を実行するシステムを實現できるように支援したい。(市内の耕作地)

(市内の耕作地)



スポーツ大使

荒木 恵司（愛・桐生）

質問 野球、ゴルフ、サッカー、ラグビーなど、様々なスポーツ分野で活躍している桐生出身者を顕彰の意味も込めてスポーツ大使に任命することにより、桐生をアピールできないか。

答弁 高校、大学、社会人、プロという野球界のあらゆるジャンルで全国制覇を遂げた指導者たちをはじめ、スポーツ界で活躍する桐生出身者は市民の誇りであると同時に、子供に夢を

与える存在でもある。このような人材を通じて桐生をアピールするという意味からも、スポーツ大使や顕彰制度の適用を検討したい。

（運動公園）



財政状況

寺口 正宣（公明クラブ）

質問 市の財政状況に関する重要な数値や指標はグラフ化して市民の理解を求めるときではないか。

答弁 グラフ化した財政状況をホームページなどを通じて示したいと考える。

質問 市債償還の今後の見込みはどうか。

答弁 今年度、借換えに伴う繰上償還を除き約六十四億円となっている元利償還金は、清掃センターや市民文化会館建設に係る元金

（市民文化会館）



償還が平成二十三年度に終了することなどにより、二十四年度には約三十九億円、二十九年度には約三十四億円に減る見込みである。

放課後児童クラブ運営

福島 賢一（愛・桐生）

質問 放課後児童クラブ運営委員会の位置づけはどのようになっているか。

答弁 市の指導のもとに各地域に組織され、市の委託によりクラブの運営にあたっているもので、社会福祉法人などと同等の位置づけにあるものと考えている。

質問 所得の高低に関わらず保育料が一律となっている現状を改善するために、所得割による段階的保育料のモデルを作成できないか。

答弁 現在、市独自の運営マニュアルの作成を検討しているが、その中で保育料のモデル案を作成していきたい。

（放課後児童クラブ）



地上デジタル放送

細谷 昌弘（クラブC）

質問 アナログ放送からデジタル放送への切り替え（市内のテレビ中継局）

はどの時点で行われるか。また、テレビの買い換えやチューナーの購入に対する国からの補助はあるのか。

答弁 アナログ放送は、平成二十三年七月二十四日までに終了するので、日付の切り替えと同時にデジタル放送に切り替わると考えられる。また、国の方針によれば、現時点では、テレビの買い換えやデジタルチューナーの購入は、原則的に個人負担とされているが、経済的困窮度の高い世帯などに対するチューナーの無償給付が検討されている。



認知症対策

田島 忠一（愛・桐生）

質問 認知症サポーター養成講座について桐生市独自の開催計画はあるのか。

答弁 今後の計画として、出前講座、各種健康教室及び介護教室において開催するほか、来年度から市内五か所に設置される地域包括支援センターごとに講座を設けるなどの事業展開を行うていきたい。

質問 民間団体やNPO法人との協力体制はどうか。

答弁 今後、地域包括支

援センターを核に、各地域の自治会役員や各種ボランティアなどに認知症サポーターになってもらう中で協力体制の構築に努めたい。

（認知症サポーター養成講座）



川内北小学校統廃合

津布久 博人（日本共産党）

質問 地元住民が統廃合に反対していることを理由にその地区の代表者が推進委員になることを辞退した事実をどう捉えているか。

答弁 同地区代表者の推進委員の委嘱については地区の話し合いの結果、受け取ってもらえる運びとなった。

質問 学校統合の際には、学校の持つ地域的意義や地域住民の意向に十分配慮すべきとしている国の通達をどう捉えているか。

（川内北小学校）



答弁 これまでの広聴会や説明会に引き続き、今後、推進委員会の中で地元の見を伺っていく考えである。

水沼温泉センターの存続

新井 達夫（愛・桐生）

質問 水沼温泉センターの存続に向けた取り組みは、（水沼温泉センター）



答弁 同センターは平成三年の開業以来、わたらせ渓谷鐵道の誘客の目玉として位置付けられてきたが、平成六年度をピークに利用者には減り続け、現在に至っても経営状況は悪化する一方であることから、営業継続のための一つの方法として、営業権の譲渡先を公募しているところである。市としては、沿線自治体などと協議する中で、地域の核心的な観光・集客施設として位置付けられる同センターの営業存続に向けて努力していきたい。

主な議案

○桐生市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

可決

概要

桐生みどり消防署を新たに設置することに伴い、条例中の消防署の名称、位置及び管轄区域に関する規定を改正しようとするもの。

（桐生みどり消防署）



○指定管理者の指定について（桐生市新里温水プール）

可決

概要

桐生市新里温水プールの指定管理者を新たに指定しようとするもの。

○桐生市子育て支援センターの設置及び管理に関する条例案

可決

概要

子育て支援機能の充実を図るための拠点として、桐生市保健福祉会館内に桐生市子育て支援センターを設置しようとするもの。

○桐生市新里地区複合施設建設建築主体工事請負契約の締結について

可決

概要

桐生市新里地区複合施設建設建築主体工事の請負契約を契約金額七億九千九百五十万円で締結しようとするもの。

会計監査について

小滝 芳江（クラブ21）

質問 先般、会計検査院の指摘により、十二の道府県における物品購入等に係る不正経理が発覚した問題を受け、今後、納品書のチェックなど、監査機能の強化に取り組む考えはあるか。

答弁 桐生市では、物品購入の際の一連の手続きは、当該課だけでなく契約検査課や出納室における決裁手続きを経て行われ、その一連の手続きを監査委員事務局において再度チェックし



（桐生市役所）

ている。まずは関係各課が適正処理に努めることが重要と考えるが、監査機能強化による不正防止にも万全を期す考えである。

おりひめバスについて

笹井 重俊（日本共産党）

質問 検討委員会で提起された改定案の概要は。

答弁 市民から多く寄せられた意見、要望への対応として、全路線に市役所、厚生病院へ乗り入れる便を設けることのほか、鉄道との接続や雨の日の通勤・通学時間帯の利用に配慮したダイヤ設定及び梅田線の運行経路見直しなどの改善が検討されているものである。

質問 今後、市民からの意見、要望をどのように収



集し、反映していく予定か。
答弁 市ホームページなどを通じて市民の意見、要望を収集する中でバスの利便性向上に努めていきたい。（おりひめバス）

人事

案件

市議会は、次の人事案件二件に同意及び異議ない旨回答することに決定しました。

教育委員会委員

前原 勝氏（再任）

人権擁護委員

江原 照子氏（再任）



（新里温水プール）